

いま、新しい
公共を考える!



総合区ってなに? ～地域自治区からはじめてみよう～

共催:自治体政策研究会

2021年1月23日(土)

14:00～16:00

にしなり隣保館 ゆーとあい から配信
住所:大阪市西成区出城2-5-9

コロナ感染予防のため、WEB (Youtube) での配信を予定しています。申し込まれた方に、配信URLをお知らせいたします。お手数ですが、申込をお願いいたします。

参加費: 無料

金谷 一郎 氏 大阪経済法科大学 客員教授



シティマネージャー・区長の
総括と総合区の評価

1975年に大阪市に入職。2012年公募区長として東淀川区長に就任(2017年任期修了) 2017年4月より大阪経済法科大学客員教授 2019年3月大阪市立大学都市研究科修士課程修了。行政経験のみならず、地域活動・NPO活動にも多く関わる。

富田 一幸 氏 エル・チャレンジ 代表理事



総合区を考える

～西成特区構想を拡充する視点から
西成を中心に地域の「生活」「雇用」「コミュニティ」を育むまちづくり事業や就労支援に取り組むナイスを1997年に設立。
現在は、公共施設等における清掃業務で知的障がい者へ就労訓練を提供するエル・チャレンジの代表理事。

武 直樹 氏 いくの市民活動支援センター代表理事



市議会の議論と

住民自治の視点から

1999年に大阪市生野区社会福祉協議会に就職。ソーシャルワーカーとして生野区のみまちづくりに関わる。
2009年いくの市民活動支援センター設立 2011年より大阪市議会議員として、市民の声を議会に届けている。

趣旨説明: 西脇 邦雄 大阪経済法科大学 教授

自治フォーラムでは、引き続き巨大な住民投票が問いかけたものと考えていきます。

11月1日 2度目の住民投票で大阪市は残りました。

「特別区にしますか?」「大阪市を残しますか?」ということだけではなく、「二重行政の解消」と「ニアイズバターの実現」も大きなテーマでした。

特に財源不足や、特別区間の格差が争点になりました。また、介護保険の一部事務組合化や、社会福祉協議会の廃止など、介護や地域福祉、就労支援の在り方、さらに外国籍住民が参加できない仕組みも論点になりました。

大阪市長の松井さんと大阪府知事の吉村さんは矢継ぎ早に「広域一元化条例」「総合区条例」を打ち出しています。

この提案が議論となった課題を解決することになるのか。総合区は住民自治と大阪市の抱える問題にプラスになるのか。

もう一度、『私たちの大阪のまち、これからどうしていく?』という原点に立ち戻り、難しいけどすごく大事な「制度や行政システム」と身近な「日々の暮らしや地域生活」この2つのテーマでフォーラムを再開していきます。

まずは、住民投票では問われなかった、「総合区」に注目し、議論を深めたいと思います。

申込方法

Web・FAXのどちらかでお申し込みください。

- Webの方は<https://form.os7.biz/f/2965d169/>よりお申し込みください
- FAXの方は【第19回自治フォーラム申込】と記載し、
①氏名②電話番号③メールアドレスをお伝えください。



連絡先

自治フォーラムおおさか

住所: 大阪市生野区巽南1-2-3

電話: 06-6753-6714

FAX: 06-6563-1159【申込専用】

Mail: lg.forum.osaka@gmail.com

Blog: <http://lgforumosaka.seesaa.net/>